

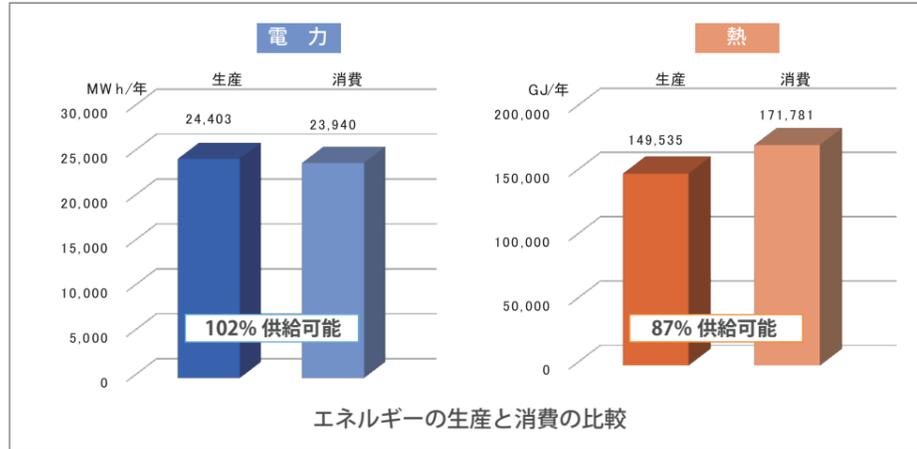
# 北オホーツク地域循環共生圏構想

西紋別地区 5 市町村に湧別町を加えた北オホーツク地域では地域循環共生圏構築に向けて 2019 年 11 月、「北オホーツク地域循環共生圏構築協議会」を設立しました。

この協議会では、地域に豊富に存在するバイオマス資源（家畜ふん尿・木質等）の有効活用を通じた、基幹産業の基盤強化や新産業の創出や防災対策、また環境問題対策を目的に市町村の枠を超えた取り組みを行っていきます。

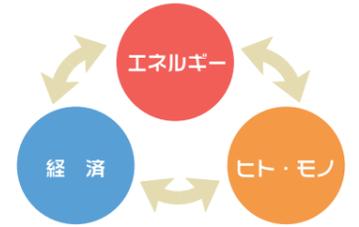
## 地域のバイオマスを活用したエネルギー生産ポテンシャル

豊富なバイオマス資源を活用する施設として、家畜ふん尿や生ごみを処理するバイオガスプラントが既に 9 基稼働中で、さらに、13 基の計画があります。また、木質バイオマスを活用する施設（大規模木質バイオマス発電所を除く）は、ボイラー施設が 4 基稼働しており、13 基のボイラー施設が計画中です。これらの施設で生産可能なエネルギー量は年間に電気 24,403MWh、熱149,535GJ に上り、これは北海道の一般家庭で電気は5,706 世帯分、熱は3,729 世帯分に相当し（出典：総務省統計局 家計調査）、公共施設にエネルギーを供給する場合、電気は消費量の102%、熱は 87%を賅うことができます(右グラフ)。



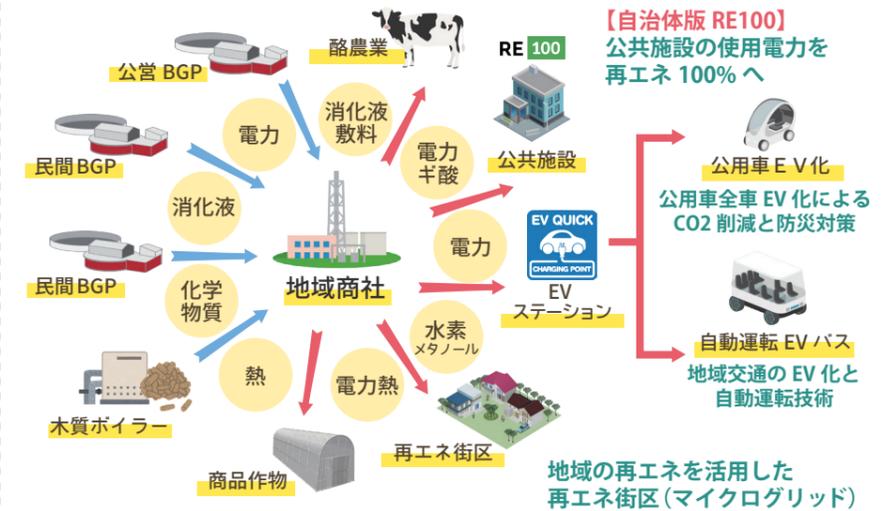
## 地域内でのエネルギー循環の可能性

本地域のバイオマスを活用して得られるエネルギーは公共施設、行政車両や加工場、民間の交通機関等で利用することで圏域外へのエネルギー代金の流出を防ぎ、圏域内でのエネルギー、経済、ヒト、モノ等の循環を生み出します。



## 北オホーツク地域循環共生圏と北オホーツク版シュタットベルケ

北オホーツク地域では、その地域独自のシュタットベルケのような地域商社を設立し、地域資源の活用とエネルギーや循環資源の地産地消を行うことで、地域循環共生圏の実現を目指します。



## 1 バイオマス～豊かな地域資源～ 自立分散 (オーナーシップ)

**バイオガスプラント**

- 家畜ふん尿 (畜産)
- 生ゴミ (有機資源)
- 下水汚泥 (有機資源)

エネルギー・産物

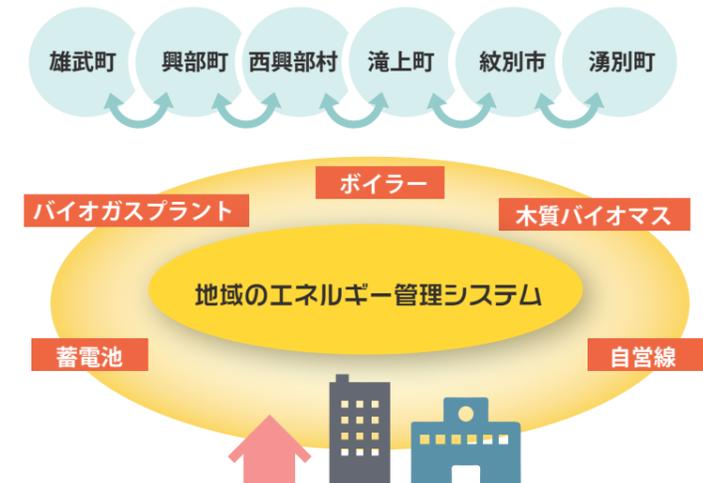
- 発電機出力: 5,750kW
- ボイラー出力: 7,300kW
- 発電量: 24,403MWh/年
- 熱量: 149,535GJ/年
- 消化液: 49万t/年

**木質バイオマス** (未利用材)

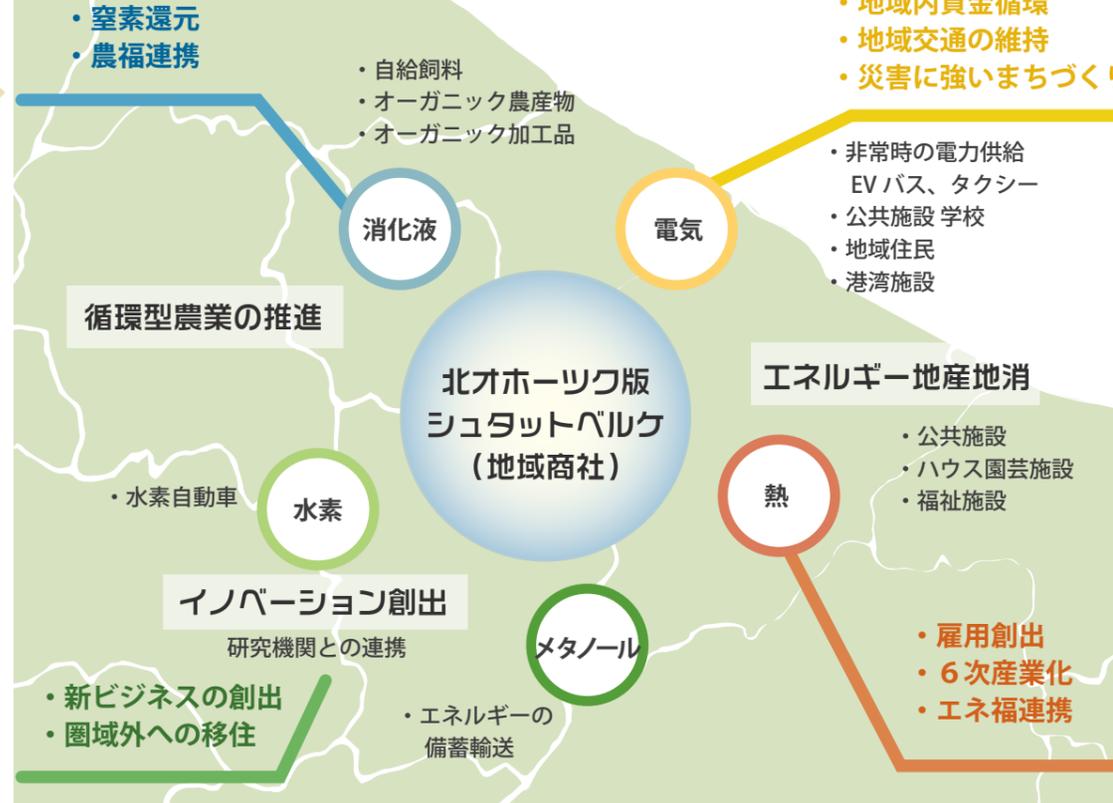
- 紋別市 医療機関ボイラー
- 滝上町 ホテル、福祉施設、公共施設ボイラー
- 滝上町 ボイラー計画 12ヶ所
- 西興部村 ボイラー計画 1ヶ所

地域全体の供給システム

## 2 エネルギー×自治体を超えた連携 相互連携 (ネットワーク)



## 3 地域資源の特性に応じた地域内活動 循環・共生 (サステナブル)



**地産地消ブランディング**

- 低炭素産品
- 市民ファンド
- 地域電力
- グリーン電力証書販売
- 排出権取引

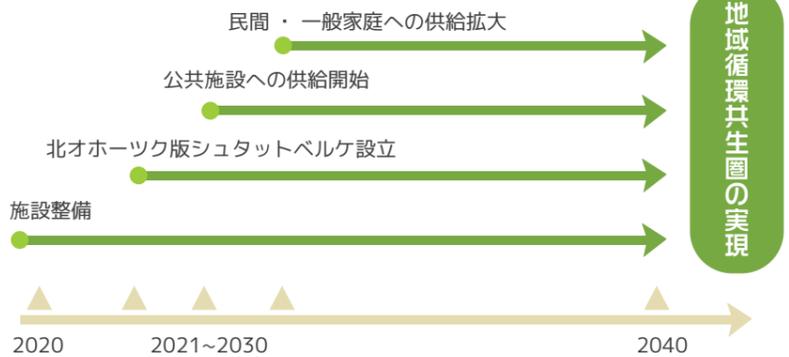
**課題**

- 安定安価なエネルギー貯蔵技術、輸送技術の開発
- 電気以外のエネルギー媒体への変換技術、消費ニーズとのマッチング

北オホーツク地域が連携して地域づくりを行います。

## 北オホーツク地域循環共生圏の構築に向けて

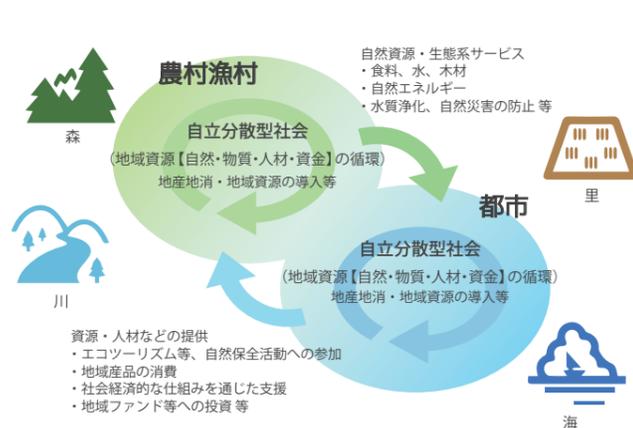
北オホーツク地域循環共生圏の構築に向けて 2020 年度以降、バイオマス関係施設整備に向けた協議・調査を進めて参ります。2021 年度以降には、施設整備や北オホーツク版シュタットベルケを設立し、地域で生み出されるエネルギーやメタン発酵消化液等の循環資源の域内供給を行います。エネルギー等の供給は公共施設への供給から始め、順次民間や一般家庭への供給拡大を目指します。その先に、地域循環共生圏の実現をイメージしています。



## 地域循環共生圏とは

地域の特性を活かした強みを発揮して地域資源が循環する自立・分散型の社会を形成しつつ、それぞれの地域の特性に応じて、近隣地域等と地域資源を補完し支え合う、持続可能な循環型社会のことです。  
地域循環共生圏では、次の5つの姿を目指します。

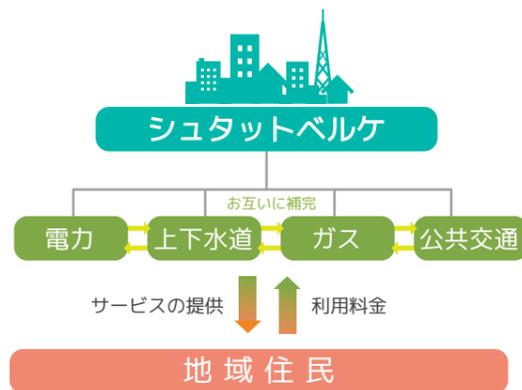
1. 健康で自然とのつながりを感じる「ライフスタイル」
2. 多様なビジネスの創出
3. 自律分散型の「エネルギー」システム
4. 「災害」に強いまち
5. 人に優しく魅力ある「交通・移動」システム



## シュタットベルケとは

シュタット=町 ベルケ=会社

シュタットベルケとは、ドイツにある自治体が出資している民間企業のことであり、その多くは電力、上下水道、ガス、公共交通サービス等、地域に密着したインフラサービスを提供しています。再生可能エネルギーの導入が進むドイツでは、シュタットベルケによる地域資源を有効活用した地域エネルギー供給の取り組みが進んでおり、地域内経済循環を実現し、地域での新たな雇用も創出しています。



# 北オホーツク 地域循環共生圏

紋別市・湧別町・滝上町・興部町・西興部村・雄武町

「北オホーツク版シュタットベルケ」を目指して

北オホーツク地域には、豊富なバイオマス資源が眠っています。  
この豊かな資源は、この地域の未来をつくります。  
いま、6市町村が手を取り未来の地域づくりを進めていきます。



## North Okhotsk 北オホーツク

### 雄武町

オホーツク海と海産資源と畜産資源に恵まれた「自然と資源の豊かな町」

- 人口：4,389人 世帯数：2,241世帯
- 産業：水産業、酪農業、林業
- 観光：日の出岬、ピヤシリ湿原など

### 興部町

バイオガス事業でまちの課題を解決！産業振興にも取り組む

- 人口：3,778人 世帯数：1,796世帯
- 産業：酪農業・乳製品加工業、水産業、林業
- 観光：さるる海浜まつり、おこっぺ夏まつりなど

### 西興部村

積極的な地域情報発信で知名度UP、バイオガス事業にも取り組む

- 人口：1,064人 世帯数：660世帯
- 産業：酪農業、林業、ギター製造
- 観光：森の中のホテル「森夢」、森の美術館「木夢」、道の駅「花夢」など

### 滝上町

木質バイオマスの活用でエネルギーの自立に取り組む

- 人口：2,544人 世帯数：1,402世帯
- 産業：林業、酪農業、農業（ハッカの生産日本一）
- 観光：日本最大級の芝ざくら、童話村など

### 紋別市

流氷と大地の恵みを活かし人が輝き躍動するまち

- 人口：21,579人 世帯数：11,798世帯
- 産業：水産業・水産加工業、酪農業、農業
- 観光：流氷砕氷船ガリンコ号など

### 湧別町

オホーツク海とサロマ湖に囲まれたチューリップのまち

- 人口：8,664人 世帯数：4,135世帯
- 産業：水産業、酪農業、農業
- 観光：かみゆうべつチューリップ公園、龍宮街道（サロマ湖）など

